

工事店様用

YEL4GB YEL4GB-HST-03*

余剰買取向け

 **エコめがね**

10年プラン 4G 回線 住宅用セット

for オムロン株式会社製・長州産業株式会社製 蓄電システム
[太陽光発電 遠隔モニタリングサービス]

施工・取扱説明書 Ver4.0

この施工・取扱説明書は、以下の商品の施工・取扱方法について説明しています。
「ちくでんエコめがね 10年プラン 4G 回線住宅用セット」(以下、本製品と記す)

はじめにこの施工・取扱説明書をよくお読みになり、十分ご理解のうえ正しく安全にご使用ください。

- 施工に際して記載内容を守ってください。
- 施工は電気の知識を有する専門家が行ってください。

【ご注意】

本書は、オムロン株式会社製蓄電システムまたは長州産業株式会社製蓄電システムを利用している設備を前提としております。ただし、以下の場合は本製品をご利用いただけません。

- オムロン株式会社製「住・産共用フレキシブル蓄電システム」(以下、フレキシブル蓄電システムと記す)を利用している設備で、発電量計測用スマートメータ(以下、子メータと記す)が未設置の場合

目次

安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意.....	3
本製品について.....	7
1 機器の名称と役割	7
2 仕様	9
システム構成、施工・設定の流れ.....	11
1 システム構成図	11
2 施工・設定の流れ	13
施工手順	14
1 部材・機器の準備	14
2 EL センサの設置	16
3 Hub の設置	18
4 子メータの設置・設定（フレキシブル蓄電システムの場合のみ）	19
5 各機器の配線	21
6 EL センサの設定	23
保守	27
1 EL センサを交換する	27
2 Hub を交換する	28
3 蓄電池を交換する	29
4 EL センサのパスワードを変更する	30
取扱方法	31
1 疎通確認方法	31
その他	32
1 トラブルシューティング.....	32

安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意

安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意

誤った取扱をしたときに生じる危害や損害を、次のように区分して説明しています。

 危険	正しい扱いをしなければ、この危険のために、時に死亡に至ったり、重傷を負う場合も起こり得ます。また、同様に深刻な物的損害※を受けるおそれがあります。
 警告	正しい取扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至るおそれがあります。
 注意	正しい取扱いをしなければ、この危険のために、ときに軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害※を受けるおそれがあります。

※ 物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で説明します。

	● 一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告
	● 分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
	● 一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示
	● 感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告

 危険	
	周囲に発火性、腐食性のガスがある場所、火の近くなどの環境下では使用しないでください。 爆発、火災、感電のおそれがあります。
	本製品の隙間などから、異物(金属片、可燃物、液体等)が内部に入らないようにしてください。 火災や感電のおそれがあります。
	既定の電源電圧でご使用ください。 規定外の電源電圧を供給されますと火災や感電の原因となります。

 警告	
	本製品は、幼児の手の届かないところに設置してください。 誤飲や感電による傷害が起こる可能性があります。
	本製品に発火物を近づけたり、可燃性ガスを含むスプレーを吹き付けたりしないでください。 発煙・発火・火災・爆発のおそれがあります。
	本製品にぬれた手で触れないでください。 感電による傷害や機器故障のおそれがあります。
	本製品を分解・改造しないでください。 感電による傷害や火災が起こるおそれがあります。電波法でも禁止されています。

安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意

注意

	電気工事を伴う設置の際は、電気設備技術基準・内線規程に従い、第1種または第2種電気工事士が行ってください。 感電・火災のおそれがあります。
	強酸、有機溶剤、火の近くなどの環境下では使用しないでください。 故障の原因となるおそれがあります。
	本製品を次のような場所には設置しないでください。 ● 野外や軒下等の雨水があたるところ ● 洗面所、脱衣所、作業場、調理場などの湯気の当たる場所、もしくは湿度が使用範囲以外のところ 焼損のおそれがあります。
	本製品を振動、衝撃の影響が大きいところや、落下するおそれがあるところに設置しないでください。 落下により怪我をするおそれがあります。
	本製品を、湿気の多い場所(洗面所、脱衣所、作業場、調理場など)に設置・保管はしないでください。 また、製品内部に水や液状のもの、導電性の塵が入った状態で使用すると非常に危険です。 焼損のおそれがあります。
	● 本製品の清掃は、乾燥した柔らかい布で行ってください。 ● 有機溶剤（シンナー、ベンジン等）など揮発性のものや、強アルカリ性物質、および強酸性物質や薬品を使用しないでください。 機器の変色や故障のおそれがあります。
	極端な高温下や低温下、または温度変化の激しい場所での使用および保管はしないでください。 例 ・ 直射日光の当たる場所 ・ 熱源の近く
	本製品を振動、衝撃の影響が大きいところや、落下するおそれがあるところに設置・保管（輸送を含む）しないでください。 落下により怪我をしたり、機器故障のおそれがあります。
	強い磁界、電波を発生する機器の近くでの使用・保管は避けてください。 まれに誤作動(停止、リブート)や部品の故障を招くおそれがあります。
	本製品内のコネクタ等には触らないでください。 コネクタの接合部に無理な力がかかると機器の破損や接続不良の原因となります。
	本製品の上に物をのせたり、ぶら下げるなど無理な力を加えたりしないでください。 落下により怪我をしたり、機器が故障したりするおそれがあります。

安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意

安全上の要点

以下に示す項目は、安全を確保する上で必要なことですので、必ずお守りください。

- 本製品を廃棄する場合は、地方自治体の条例または規則等に従ってください。
- 本製品に発煙、発熱、その他の異常を感じた場合は、本製品の電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- 本製品を押入や階段下など、通風を妨げるような場所に設置しないでください。
- 振動、衝撃の影響が大きいところには保管（輸送を含む）しないでください。

使用上の注意

- 本製品は、NTTドコモ LTEサービスエリア内でご使用ください。
LTEサービスエリアは以下のサイトでご確認いただけます。
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/area/>
- 本製品は静電気によって故障、破損することがあります。本製品に触れる前に身近な金属に手を触れるなどして身体の静電気を取り除くようにしてください。
- 本製品が取得する数値の精度は、接続する機器の性能に依存します。接続する機器の製品仕様書を確認してください。
- 本製品を接続可能蓄電システム以外に接続しないでください。
対象外の蓄電システムを接続されますと機器故障のおそれがあります。
接続可能機種に関しては以下のサイトでご確認いただけます。
https://www.eco-megane.jp/el_sensor_peripheral/
- ケーブルを強く引っ張らないでください。
- LANケーブル接続の際は、コネクタが正しく接続されていることを確認してください。
- 蓄電システムを複数台接続する場合は、同一シリーズのみで接続してください。
- 他機種のメンテナンスツールを使用しないでください。本製品が故障するおそれがあります。

安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意

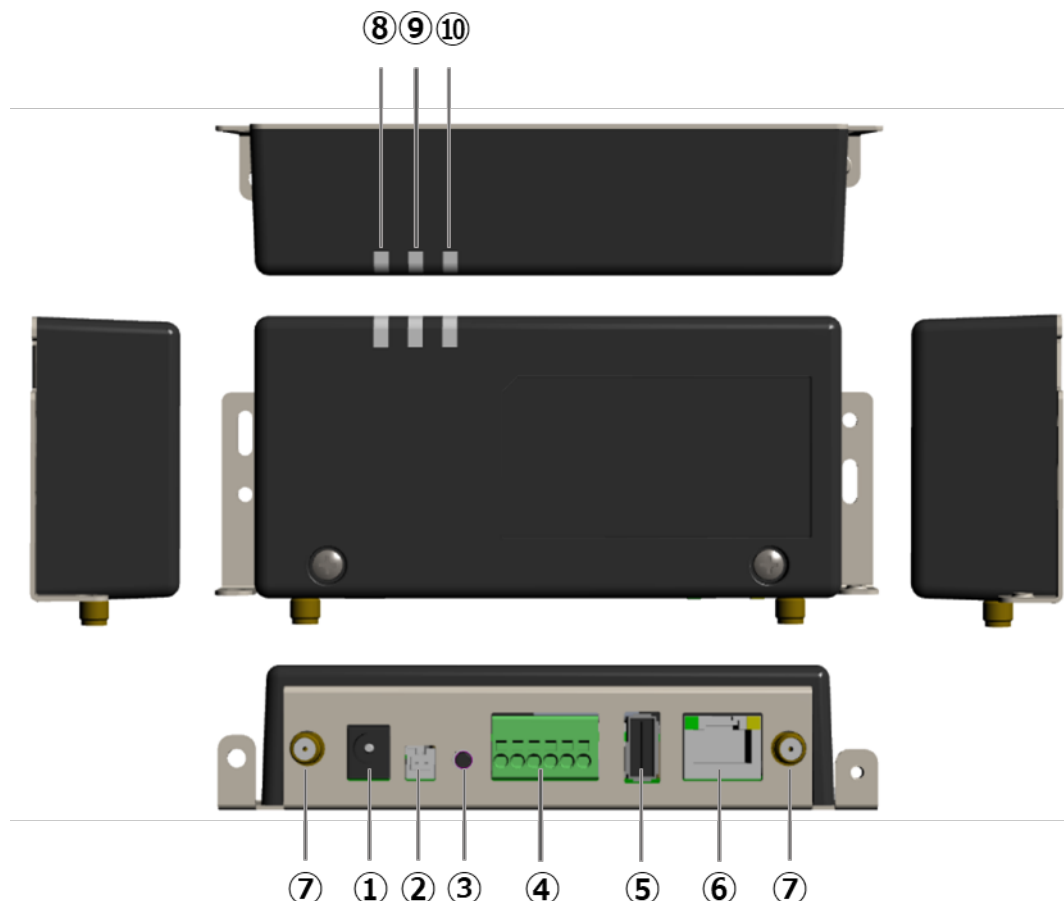
使用上の注意（つづき）

- 本製品を次のような場所に設置しないでください。
 - －直射日光の当たるところ
 - －虫や小動物が多いところ
 - －温度変化が激しいところ
 - －潮風にさらされるところ
 - －風雨にさらされるところ
 - －屋外や軒下等の雨水があたるところ
 - －水を浴びる、水の侵入があるところ
 - －氷結するところ
 - －揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有毒ガスのあるところ
 - －浴室、脱衣所、台所等の水蒸気、油蒸気、結露のあるところ
 - －使用温度範囲以外になるところ
ELセンサ（VPPコントローラ）の使用温度範囲：－10 ～ +50 ℃
 - －使用湿度範囲以外になるところ
ELセンサ（VPPコントローラ）の使用湿度範囲：15 ～ 85%RH
 - －標高2000mを超えるところ
 - －塵埃（粉塵、砂塵、綿ホコリ、金属粉、オガ屑、ワラ屑等）の多いところ
 - －金属・金具類に覆われた場所、金属の壁への設置、金属の机の上、金属製品のそば、電子レンジおよび無線に影響を与える機器（電話機・FAX・PC・PC周辺機器・テレビ・IH製品）の近く

本製品について

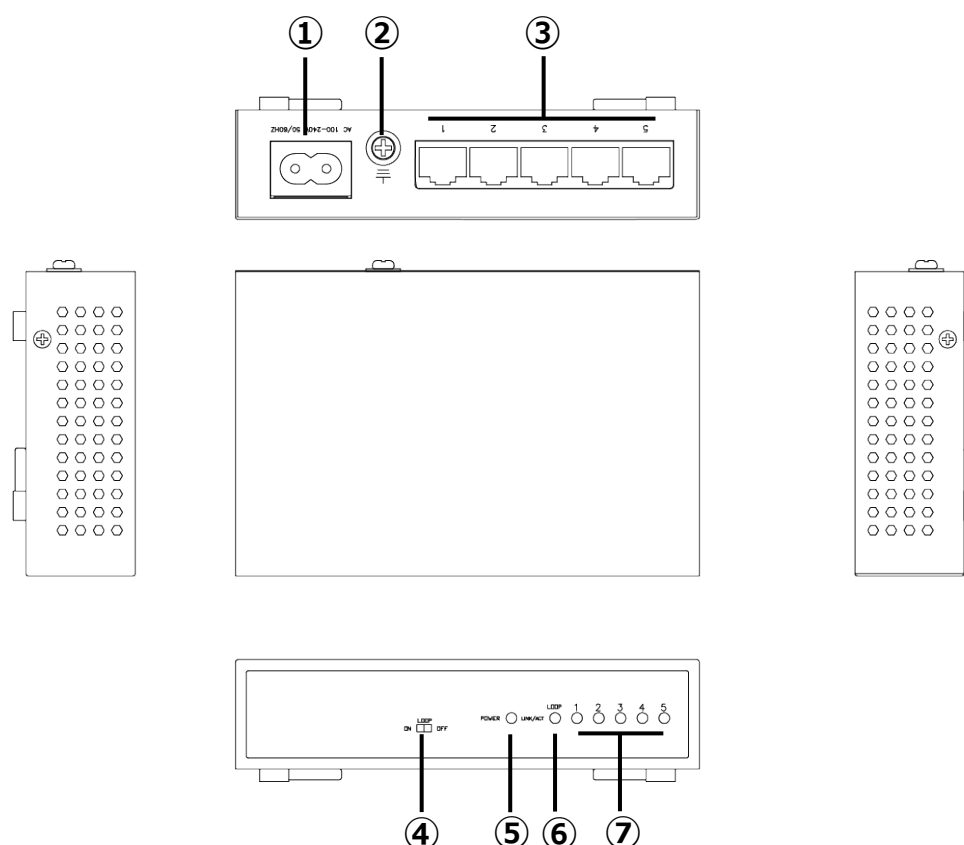
1 機器の名称と役割

■ EL センサ（VPP コントローラ）※以下、EL センサと記す



No.	名称	役割	
①	電源コネクタ	AC アダプタを接続します。	
②	未使用	(使用しません)	
③	ユーザースイッチ	工場出荷状態に戻す際に押下します。	
④	シリアルポート	子メータと接続します。	
⑤	USB コネクタ	(使用しません)	
⑥	LAN コネクタ	LAN ケーブルを接続します。	
⑦	アンテナコネクタ	アンテナを接続します。	
⑧	起動ランプ	電源を投入すると点灯します。	詳細は「6-4 EL センサのランプを確認する」(P.26)をご参照ください。
⑨	サーバ通信ランプ	サーバ通信時に点灯します。	
⑩	設備通信ランプ	蓄電システム・売買電計測スマートメータ（以下、スマートメータと記す）・子メータ通信時に点灯します。	

■ Hub



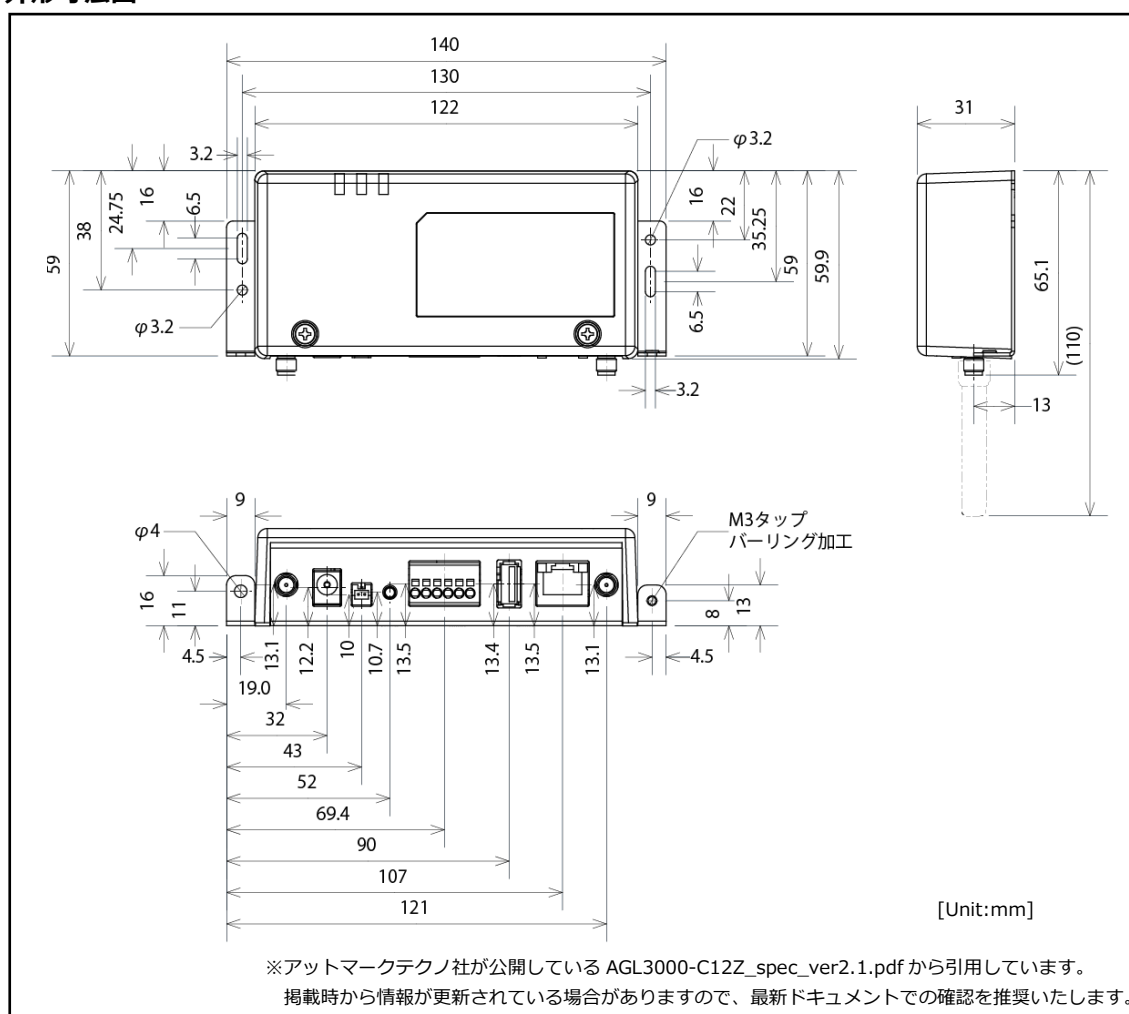
No.	名称	役割
①	電源コネクタ	ACケーブルを接続します。
②	FG 端子 (ネジ径 M4×6mm)	接地線を接続します。
③	LAN コネクタ	1～5にLANケーブルを接続します。
④	ループ検知スイッチ	使用しません。
⑤	パワーランプ	緑色点灯：電源ON 消灯：電源OFF
⑥	ループ検知ランプ	赤色点滅：ループ発生中（異常） 消灯：ループ未検出（正常）
⑦	ステータスランプ	橙色：10/100Mbps 緑色：1000Mbps 点灯：接続機器とリンクアップ 点滅：データ送信中 ※ループ発生時、ループが起きているポートは1秒間隔で点滅 消灯：未接続、接続機器がリンクしていない

2 仕様

■ EL センサ

項目	仕様
■ 型式	YEL4GB01
■ 使用周囲温度	-10 ～ +50℃
■ 使用周囲湿度	15～85%RH
■ 接続可能蓄電システム	接続可能な蓄電システムに関しては、以下のサイトよりご確認ください。 https://www.eco-megane.jp/el_sensor_peripheral/
■ 接続可能蓄電システム数	最大接続数：6
■ 電源	単相 2 線 AC100V
■ 消費電力 [W]	6W 以下（突入時を除く）
■ 質量	240g
■ 外形寸法	幅 140.0×奥行 59.9×高さ 31.0(mm)

■ 外形寸法図



■ Hub

項目	仕様
■ 型式	EHC-G05MN2-HJB
■ ポート数	5 ポート
■ コネクタ形状	RJ-45
■ 使用周囲温度	0～50℃（ただし、結露なきこと）
■ 保存温度	-40～70℃（ただし、結露なきこと）
■ 使用周囲湿度	10～90%（ただし、結露なきこと）
■ 保存湿度	5～90%（ただし、結露なきこと）
■ 電源	AC100V
■ 消費電力 [W]	最大 3.0W
■ 質量	約 330g（本体のみ）
■ 外形寸法	幅 127.5 mm × 奥行 83.6 mm × 高さ 30.0mm
■ 設置方向	水平設置、壁掛け、マグネット ※ゴム足・マグネットは出荷時に製品本体に取り付けてあります ※水平設置の際もマグネットを付けたままご使用ください。

※Hub の仕様および安全上の注意は Hub 本体と同梱の「安全にお使いいただくために」を参照してください。

■ スマートメータ ※別売品

項目	仕様
■ 型式	東光東芝メーターシステムズ製 SmaMe-TypeM シリーズ

【ご注意】

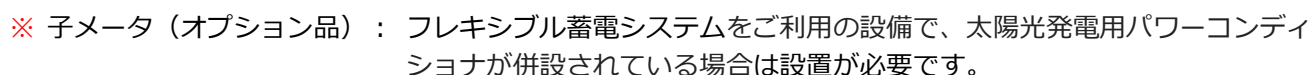
弊社取扱のスマートメータ以外の型式をご使用の場合は、メーカーへ直接お問い合わせください。

■ 弊社取扱スマートメータ

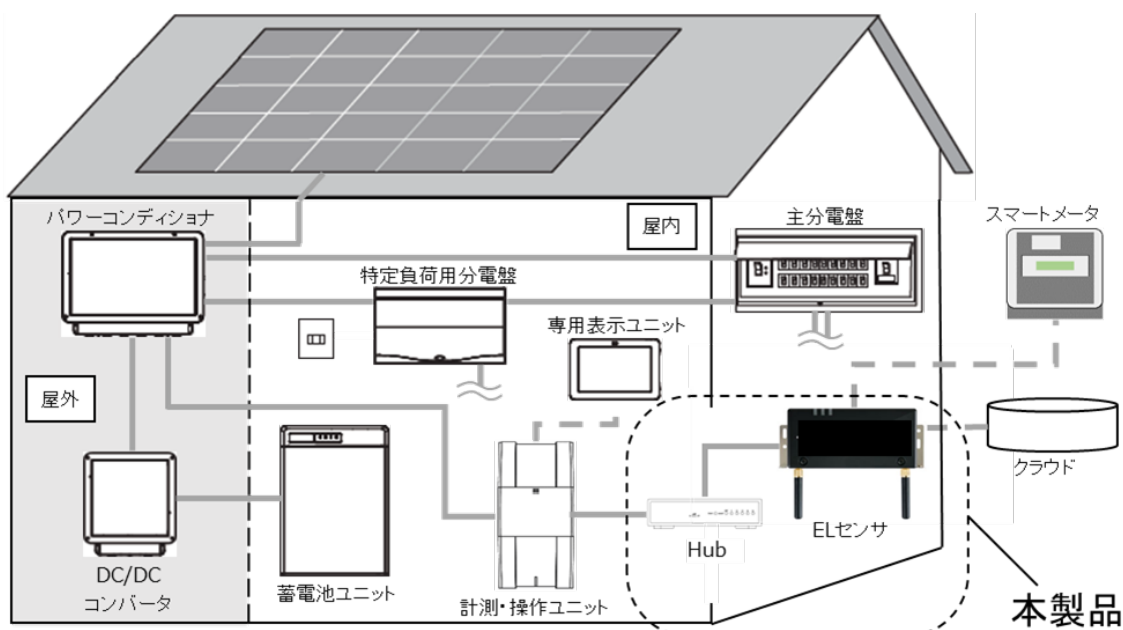
項目	仕様	
■ 型式	S2MS-RNS22	S2RS-TLNS22r
■ 相線式	単相 3 線式	単相 3 線式
■ 定格電圧	100V	100V
■ 定格電流	120A	250A
■ 計器種別	単独計器（単方向モデル）	
■ 使用周囲温度	-10 ～ +40 ℃（ただし、日平均温度 35℃以下）	
■ 保存温度	-20 ～ +60 ℃（ただし、日平均温度 35℃以下）	
■ 使用周囲湿度	相対湿度 90 %以下（結露なきこと）	
■ 保存湿度	相対湿度 90 %以下（結露なきこと）	
■ 質量	約 500g	約 700g
■ 外形寸法	幅 75 mm × 奥行 69.5 mm × 高さ 100 mm	幅 120 mm × 奥行 67 mm × 高さ 120 mm

1 システム構成図

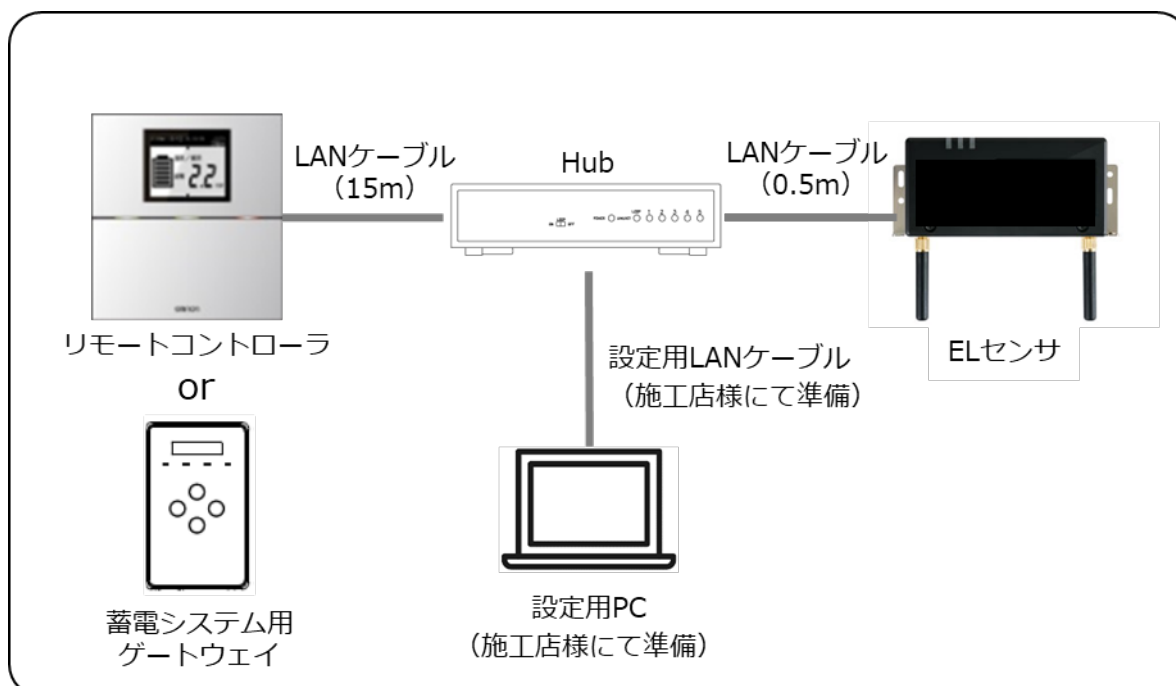
■接続図：フレキシブル蓄電システムの場合



■ 接続図：ハイブリッド蓄電システムの場合

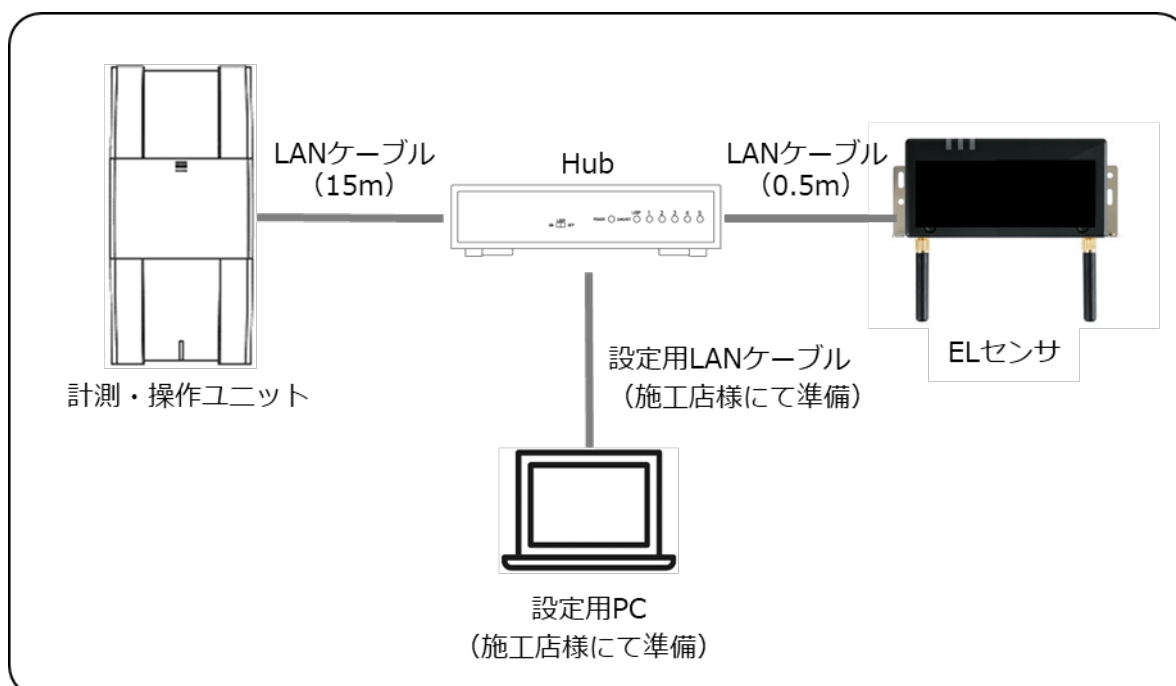


■ 施工概要図：フレキシブル蓄電システムの場合



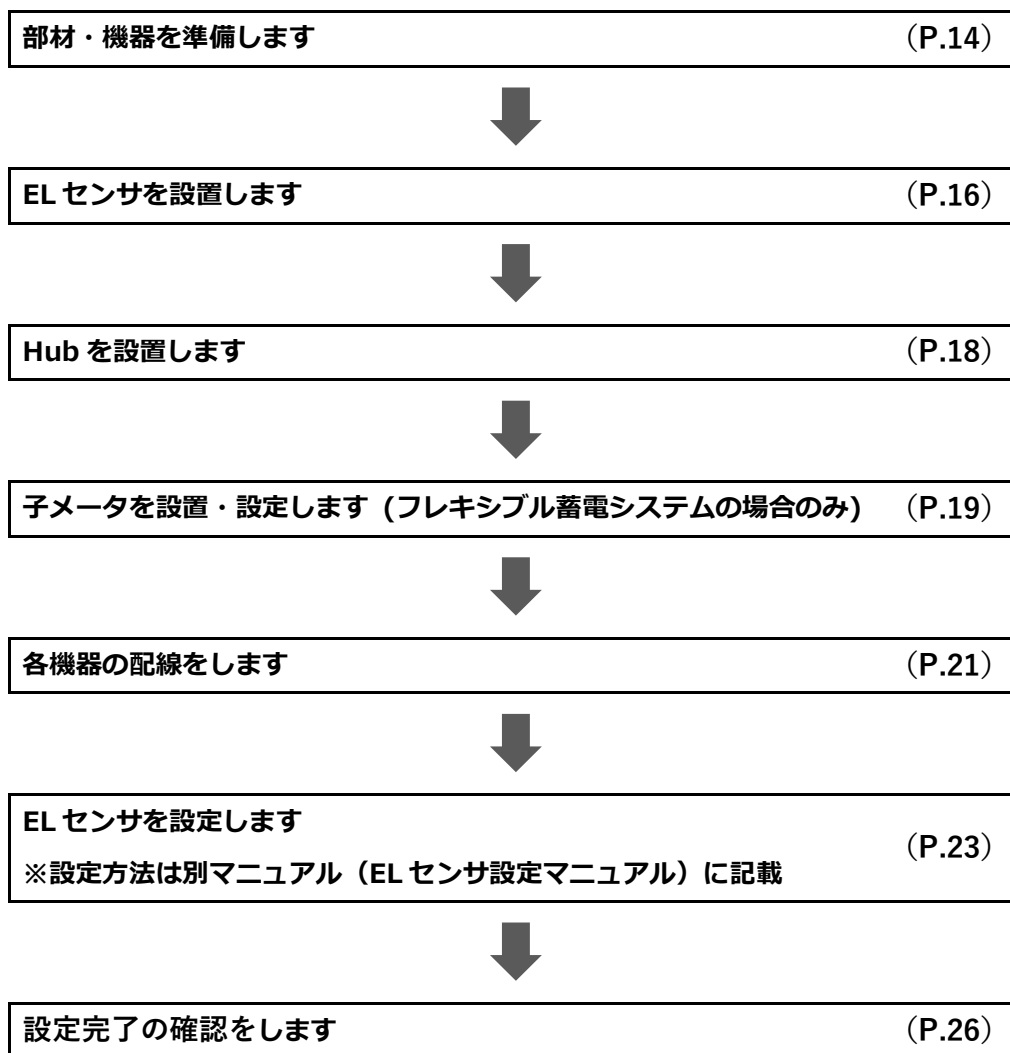
接続される機器の台数により、Hub の LAN ポートが不足する場合は、別途、施工店様等で Hub をご準備ください。

■ 施工概要図：ハイブリッド蓄電システムの場合



接続される機器の台数により、Hub の LAN ポートが不足する場合は、別途、施工店様等で Hub をご準備ください。

2 施工・設定の流れ

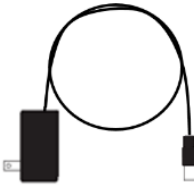
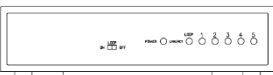
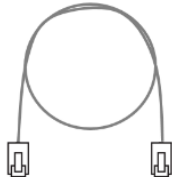


施工手順

1 部材・機器の準備

施工の前にすべて揃っていることを確認してください。

■商品一式

名称		形状	数量
EL センサ	本体		1 台
	電源アダプタ		1 本
	アンテナ		2 本
Hub	本体		1 台
	専用 AC 電源ケーブル (約 1.8m)		1 本
LAN ケーブル (0.5m)			1 本
LAN ケーブル (15m)			1 本
ログインカード (名刺サイズ)			1 枚

■オプション品一式

フレキシブル蓄電システムの場合に必要な機器です。

名称	形状	数量
子メータ (発電量計測用スマートメータ)		1 台

■ 工事店様で準備する部材・機器

名称	数量	
設定用 Windows PC (Google Chrome ブラウザと有線 LAN ポートが必要)	1 台	
設定用 LAN ケーブル (カテゴリ5 以上、最大ケーブル長 : 70m)	1 本	
接続用 LAN ケーブル (カテゴリ5 以上、最大ケーブル長 : 70m)	必要数	※1
通信ケーブル (FCPEV-Φ0.9-2P 相当、最大ケーブル長 : 500m)	1 本	※2
電力用ケーブル	1 本	
セラミックドライバ	1 本	
スイッチング Hub	1 台	※3

※1 製品付属の LAN ケーブルの長さが足りない場合は、別途、施工店様等でご用意ください。

※2 フレキシブル蓄電システムをご利用の設備で、太陽光発電用パワーコンディショナが併設されている場合に必要な部材です。

※3 製品付属の Hub の LAN ポートが不足する場合は、別途、施工店様等でご用意ください。

(ご準備いただいた Hub に関連したお問合せ・不具合等に付きましては、弊社サポート対象外となりますので、予めご了承ください)

■ 事前設置が必要な機器

- ・パワーコンディショナ
 - ・リモートコントローラ または 蓄電システム用ゲートウェイ または 計測・操作ユニット
- 本製品のご利用に必要な機器です。あらかじめご用意ください。

■ マニュアル

・ ちくでんエコめがね オムロン、長州産業製 施工・取扱説明書(本書)

本製品の施工・設定・取扱に関する説明を記載しております。

エコめがね 販売会社さま向け ダウンロードページよりダウンロードしてください。

<https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/>

・ PCS、周辺機器の施工マニュアル

本製品の設定にあたって、PCS や周辺機器の設定を変更する必要があります。

設置される PCS や周辺機器の施工マニュアルをご準備ください。

・ EL センサ設定マニュアル

本製品の設定にあたって、EL センサを設定する必要があります。

エコめがね 販売会社さま向け ダウンロードページよりダウンロードしてください。

<https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/>

2 EL センサの設置

2-1 はじめに

EL センサに触れる前に、身近な金属に手を触れるなどして身体の静電気を取り除いてください。
静電気によって、EL センサが故障や破損することがあります。

2-2 EL センサ設置前の準備

(1) パワーコンディショナの HEMS 設定を有効化する

- ・フレキシブル蓄電システムの場合…………… HEMS 接続を[無効]→[有効]に変更する
- ・ハイブリッド蓄電システムの場合…………… HEMS 接続を[なし]→[あり]に変更する

設置や設定の方法は、蓄電システム、パワーコンディショナの施工マニュアルをご参照ください。

(2) パワーコンディショナのネットワーク設定を変更する

- ・フレキシブル蓄電システムの場合…………… [ネットワーク設定]を下記の値に変更する
- ・ハイブリッド蓄電システムの場合…………… [有線 LAN 設定]を下記の値に変更する

IP アドレス取得	手動
IP アドレス	192.168.11.30
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	192.168.11.100
DNS サーバ	8.8.8.8

※ 蓄電システムを複数台接続する際、それぞれのシステムに対しネットワーク設定を実施する必要があります。その際の IP アドレスは [192.168.11.31] 以降に設定してください。

(3) お客様にて AI 制御をご利用の場合のみ

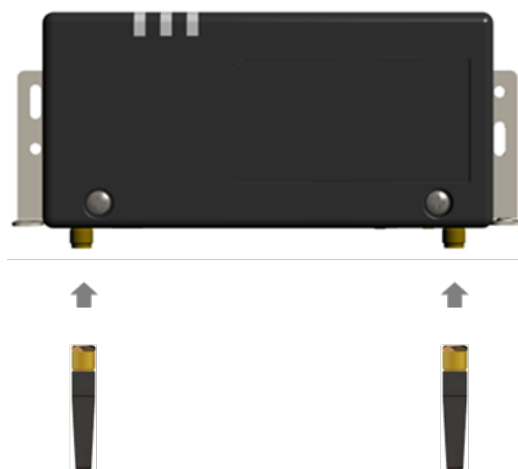
蓄電池動作モードを「グリーンモード」に設定してください。

夜間充電量を「夜間充電なし」に設定してください。

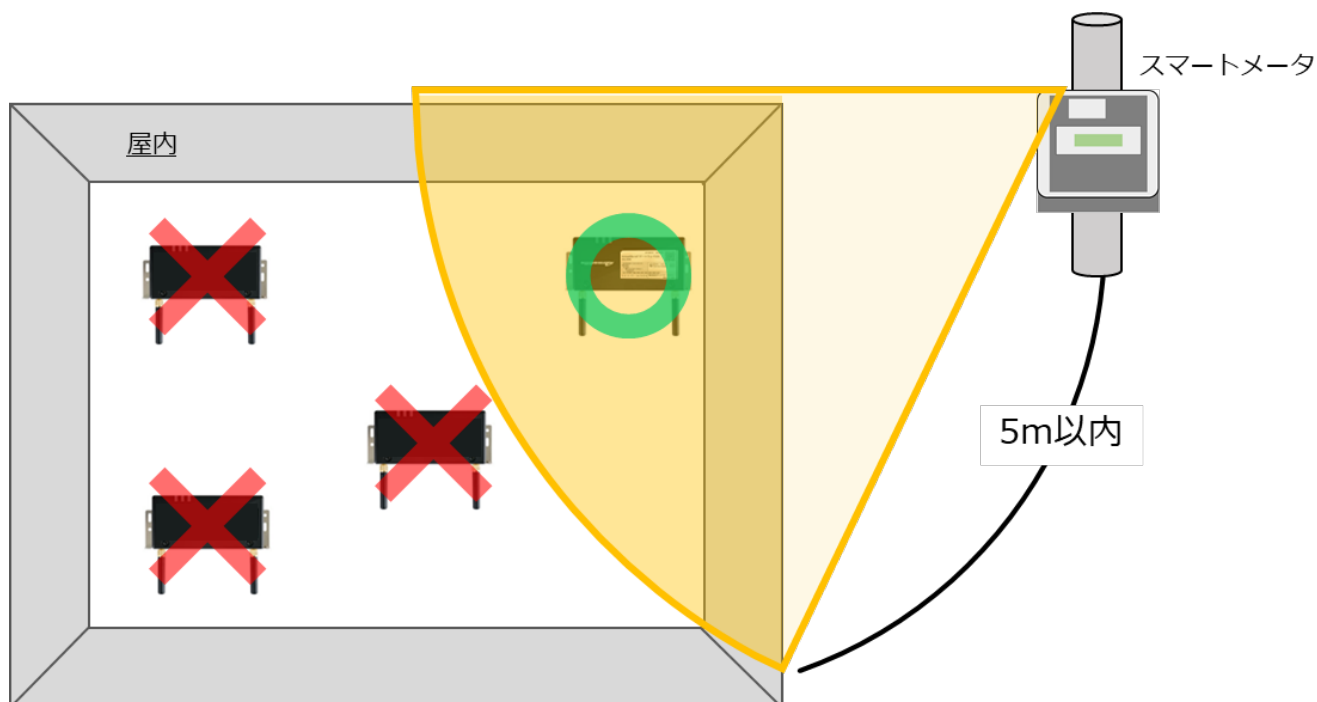
設定を行わない場合、AI 制御をご利用頂けません。

2-3 EL センサの設置

(1) EL センサにアンテナ2本を取り付ける



(2) スマートメータから5m以内（直線距離）の屋内に EL センサを設置する
5m 以内に設置できない場合は、可能な限りスマートメータに近い場所に置いてください。



【ご注意】

- ・ EL センサをスマートメータの 5m 以内に設置できない場合は、「EL センサ設定マニュアル」を参照して、電波強度が不足していないことを確認してください。
- ・ 電波強度が不足している場合は計測データを正常に取得できません。

3 Hub の設置

3-1 Hub の設置場所を確認する

- ・設置場所 : 屋内の水平な場所、垂直な壁面
- ・周囲に障害物等を置かないでください。
ランプ表示が確認できるスペースを確保してください。
- ・商用電源コンセントが必要です。
- ・横にしたり、傾けたりして取り付けないでください。
- ・直射日光が当たる場所の設置は避けください。

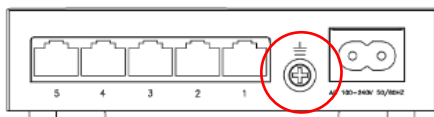
3-2 Hub を設置する

(1) Hub を設置する

(2) Hub の FG 端子に接地線をつなぐ

接地線を Hub の FG 端子に接続してください。

接地線に圧着端子(M4 サイズ)を圧着し、FG 端子にネジで締め付けてください。片方は接地してください。



接続に関する注意

- ・施工、点検時には必ず主電源を切ってください。
- ・電線の絶縁被覆をかまないように圧着・接続してください。
- ・端子ネジの締め付けには電動ドライバを使用しないでください。
端子ネジの締め付け後、圧着端子が動かないことを確認してください。
FG 端子 : ネジ径(M4×6mm)

4 子メータの設置・設定（フレキシブル蓄電システムの場合のみ）

4-1 はじめに

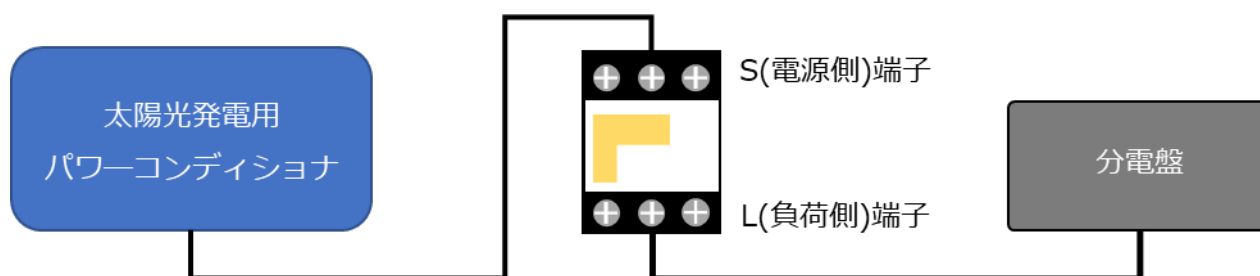
フレキシブル蓄電システムの設備で太陽光発電用パワーコンディショナが併設されている場合は、本製品をご利用の際に、併設されている太陽光発電用パワーコンディショナの出力に子メータを設置し、設定を行う必要があります。

以下の手順に従って、設置、設定を行ってください。

☞ ハイブリッド蓄電システムをご利用の場合は、「5 各機器の配線」（P.21）に進んでください。

4-2 子メータを設置、配線する

■ 子メータの設置位置



- 子メータ設置位置：併設されている太陽光発電用パワーコンディショナと、分電盤の間
- 配 線 箇 所：太陽光発電用パワーコンディショナの出力と、子メータの S(電源側)端子
分電盤と、子メータの L(負荷側)端子
- 使用配線ケーブル：電力用ケーブル

【ご注意】

- ・ 作業の前に以下を行って、無通電状態であることを確認してください。
 - － 分電盤のブレーカをオフにする
 - － 太陽光発電用パワーコンディショナの運転を停止させる

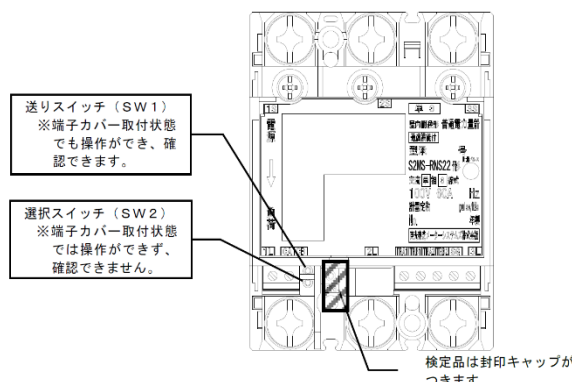
太陽光発電用パワーコンディショナの操作については付属の施工マニュアルを確認してください。

- ・ 子メータの接続先を取り間違えないようにご注意ください。
取り違えた場合、EL センサが正しく動作しません。

4-3 子メータの設定を変更する

以下の手順で子メータの設定作業を行ってください。

L(負荷側)端子付近にある設定スイッチを、セラミックドライバを用いて操作します。



■ 設定手順

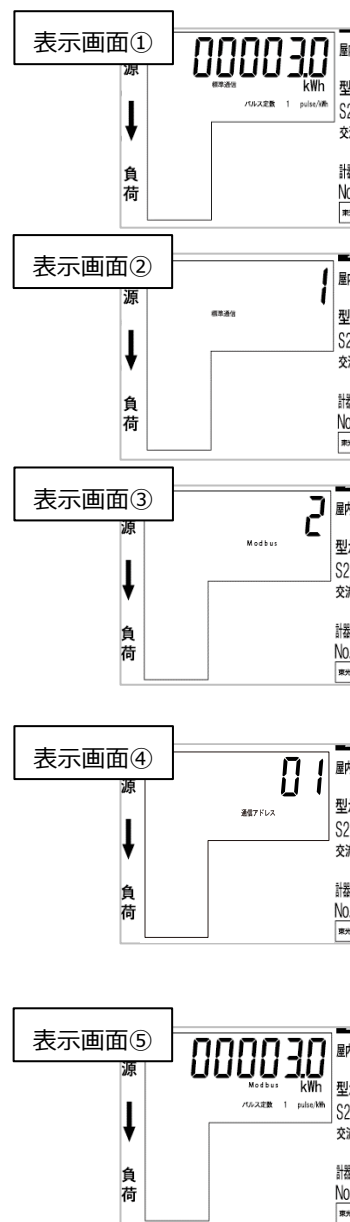
- (1) 計量値が表示されていることを確認する(表示画面①)
表示されていない場合は、送りスイッチ(SW1)を1回押して計量値を表示させてください
- (2) 計量値が表示されている状態で、送りスイッチ(SW1)を5回押す(表示画面②)
- (3) 選択スイッチ(SW2)を1回押す(表示画面③)
- (4) 送りスイッチ(SW1)を1回押す(表示画面④)
 - 通信アドレスが“01”以外に設定されている場合は、選択スイッチ(SW2)を押下し“01”に設定してください
- (5) 送りスイッチ(SW1)を複数回押してください(表示画面⑤)
- (6) 計量値表示画面で、「Modbus」の表示がされていることを確認する(表示画面⑤)
画面が消えている場合は、送りスイッチ(SW1)を1回押して、計量値表示画面を表示させて確認してください

● スイッチ操作時の動作早見表（赤字が設定値です）

		選択スイッチ(SW2)押下※	
送りスイッチ (SW1)押下	計測値画面	計量値表示	
	設定・確認	表示方向	上方向 → 左方向 → 右方向
		パルス定数設定	100 → 10 → 1 → 0.1 → 00
		パルス幅(ms)	120 → 240 → 520 → 1020
		通信速度(bps)	4800 → 9600 → 19200
		通信プロトコル	標準通信 → Modbus 通信
		通信アドレス	01 → 02 → 03 → ... → 30 → 31
	瞬時電圧値確認	1 側電圧値	1U □□□ 7
		3 側電圧値	3U □□□ 7
	瞬時電流値確認	1 側電流値	1A □□ 7
		3 側電流値	3A- □□ 7
	計量値画面	計量値表示	

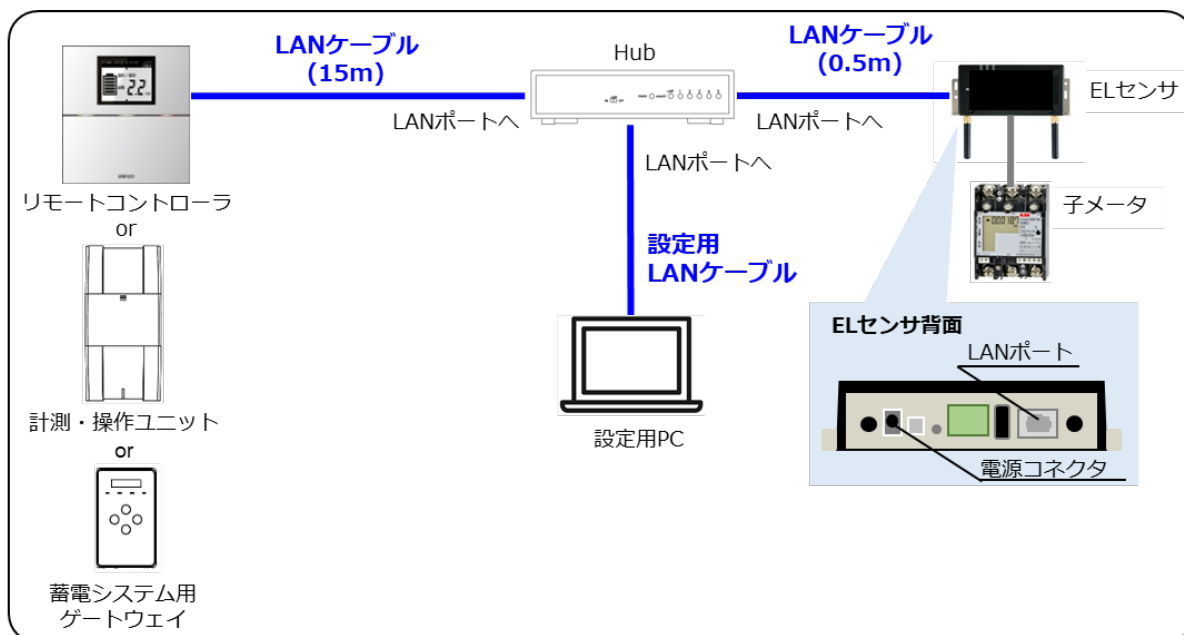
※表の一番右の値の時に選択スイッチを押下すると、一番左の値に戻ります。

■ 子メータの表示画面



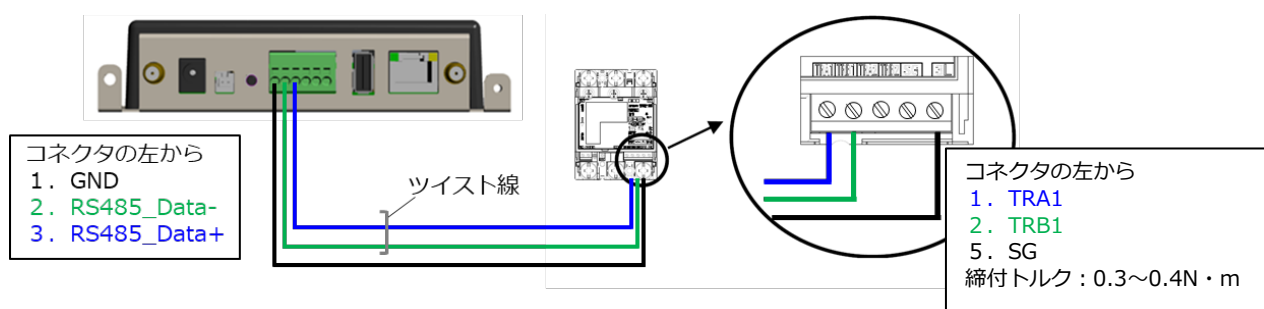
5 各機器の配線

■ 通信線の接続図



- (1) 蓄電システムのリモートコントローラまたは蓄電システム用ゲートウェイまたは計測・操作ユニット※と、Hub を接続する
Hub に付属の LAN ケーブル (15m) で接続する。
※蓄電システムによって名称が異なります。
 - ・ リモートコントローラ：フレキシブル蓄電システムをご利用の場合
 - ・ 蓄電システム用ゲートウェイ：フレキシブル蓄電システムをご利用の場合
 - ・ 計測・操作ユニット：ハイブリッド蓄電システムをご利用の場合
- (2) EL センサと Hub を接続する
Hub に付属の LAN ケーブル (0.5m) で接続する。
- (3) 設定用 PC と Hub を接続する
Hub に設定用 LAN ケーブルで接続する。
- (4) (フレキシブル蓄電池システムをご利用の場合のみ)
EL センサと子メータを接続する (下図)
通信ケーブル (FCPEV-Φ0.9-2P 相当) を用いて接続する。

■ EL センサと子メータの接続図

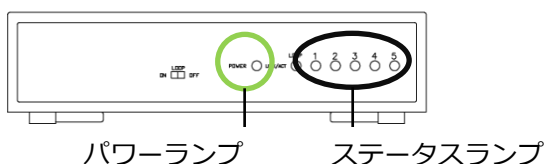


■ EL センサ - 子メータ 結線対応表

EL センサ		子メータ		備考
No.	端子名	No.	端子名	
1	GND	5	SG	
2	RS485_Data-	2	TRB1	ツイスト線を使用してください
3	RS485_Data+	1	TRA1	

- (5) EL センサと Hub に電源ケーブルを接続する
EL センサと Hub がそれぞれ起動します。

- (6) Hub のランプ状態を確認する
電源投入後、パワーランプ（POWER）が、緑点灯します。
LAN ケーブルを接続しているステータスランプが点灯または点滅します。



ステータスランプが点灯や点滅をしない場合は EL センサ、接続した機器の配線を確認してください。

- (7) EL センサのランプ状態を確認する
電源投入後、数十秒程度で起動は完了します。

EL センサの状態	起動ランプ	サーバ通信ランプ	設備通信ランプ
起動完了	点灯	消灯	消灯

【ご注意】

EL センサの起動時にランプが以下の状態になる場合は、ファームウェアのアップデートが実行中です。

ファームウェアのアップデート中は、絶対に EL センサの電源を切らないでください。

（ファームウェアアップデート所用時間：最大 15 分）

EL センサの状態	起動ランプ	サーバ通信ランプ	設備通信ランプ
ファームウェア アップデート中	点滅	点滅	点滅

※それぞれのランプは同期しません。

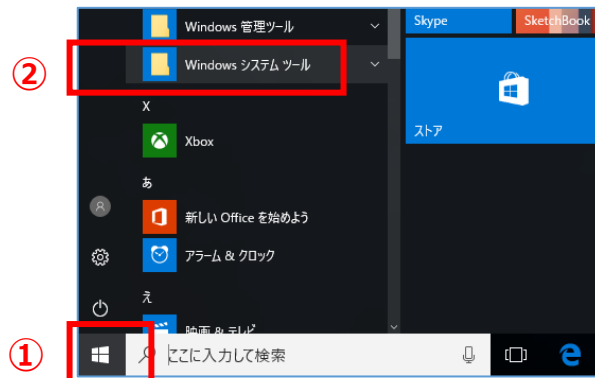
6 EL センサの設定

6-1 設定用 PC の IP アドレス設定

設定用 PC から Hub と EL センサに接続するために、一時的に PC の IP アドレス設定を変更してください。

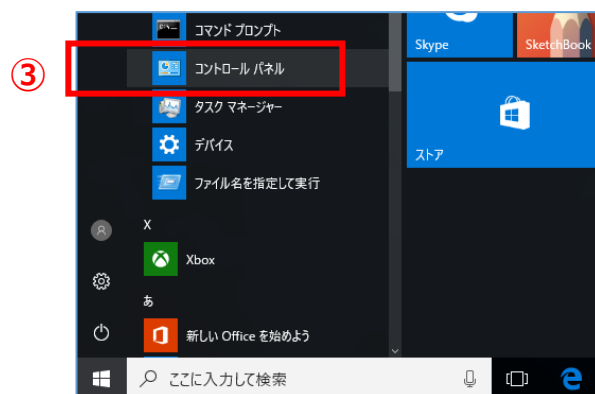
[Windows10 の場合]

(1) 「スタート」ボタンをクリックする (右図①)

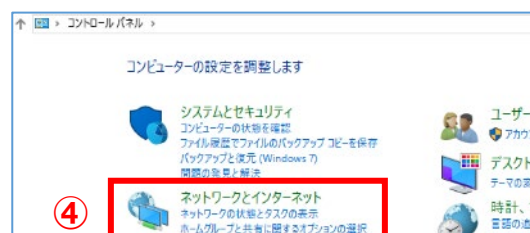


(2) 「Windows システムツール」をクリックする (右図②)

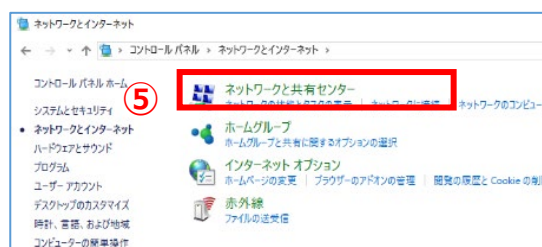
(3) 「コントロールパネル」をクリックする (右図③)



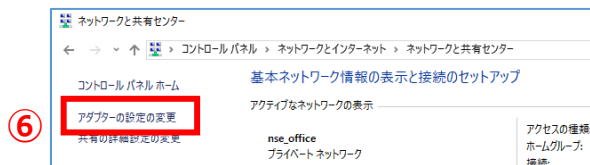
(4) 「ネットワークとインターネット」をクリックする (右図④)



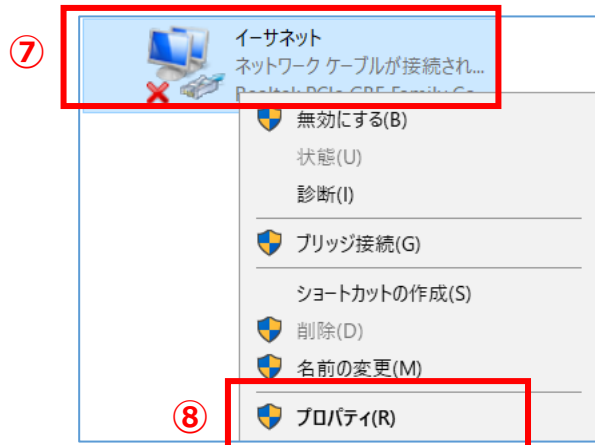
(5) 「ネットワークと共有センター」をクリックする (右図⑤)



- (6) 「**アダプターの設定の変更**」をクリックする
(右図⑥)

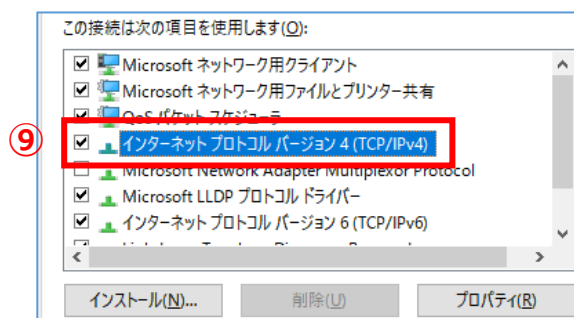


- (7) 「**イーサネット**」を右クリックする (右図⑦)



- (8) サブメニューより「**プロパティ**」をクリックする
(右図⑧)

- (9) 「**インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)**」を
ダブルクリックする (右図⑨)

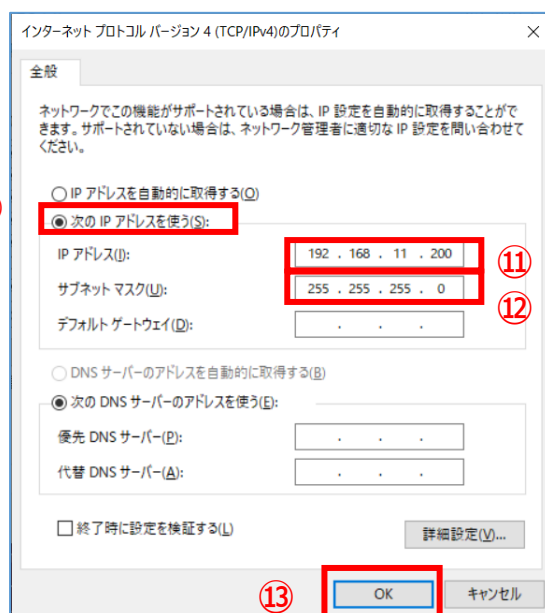


- (10) 「**次の IP アドレスを使う**」をクリックして ON[○]
にする (右図⑩)

- (11) IP アドレスに「**192.168.11.200**」と入力する
(右図⑪)

- (12) サブネットマスクに「**255.255.255.0**」と入力する
(右図⑫)

- (13) 「**OK**」をクリックする (右図⑬)



6-2 EL センサへログイン

EL センサの設定変更をするために、EL センサにログインをしてください。

- (1) Google Chrome ブラウザを起動する (右図①)
- (2) ブラウザのアドレスバーに「**192.168.11.100**」と入力する (右図②)
- (3) キーボードの「Enter」キーを押す
- (4) ユーザー名に「**user**」と入力する (右図③)
- (5) パスワードに「**user**」と入力する (右図④)
- (6) 「**ログイン**」をクリックする (右図⑤)



6-3 EL センサの設定

「EL センサ設定マニュアル」に従い、設定と確認を行ってください。
マニュアルは下記のダウンロードページよりダウンロードしてください。

エコめがね 販売会社さま向け ダウンロードページ

<https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/>

以下の EL センサの設定を行ってください。

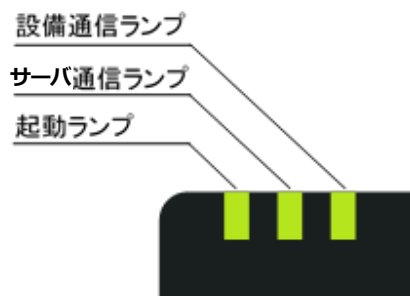
- ・LTE 電波強度の確認
- ・低圧スマートメータ設定
- ・機器登録
- ・子メータ情報
- ・設定確認

6-4 EL センサのランプを確認する

EL センサの設定が完了していることを確認するために、以下の手順でランプを確認してください。

- (1) EL センサのランプが3つ点灯することを確認する

☞ 3つともランプが点灯しない場合は、巻末の弊社問い合わせ先へ連絡してください。



■ EL センサ状態確認表

EL センサの状態	起動ランプ	サーバ通信ランプ	設備通信ランプ
起動中	点灯	消灯	消灯
サーバ通信確立中	点灯	点滅	消灯
サーバ通信確立、 設備通信確立中	点灯	点灯	点滅
正常 (設備、サーバ通信確立)	点灯	点灯	点灯
異常 (EL センサ異常)	消灯	点滅	点滅
	消灯	消灯	点滅
異常 (サーバ通信異常)	点灯	消灯	点灯
異常 (設備通信異常)	点灯	点灯	消灯

設定は以上で終了です。

保守

1 EL センサを交換する

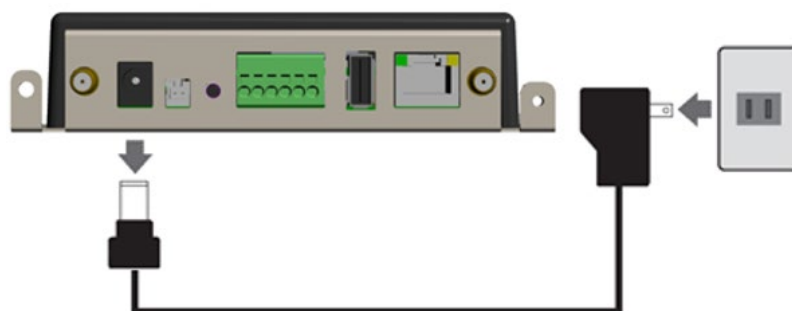
1-1 必要準備物

以下をご準備ください。

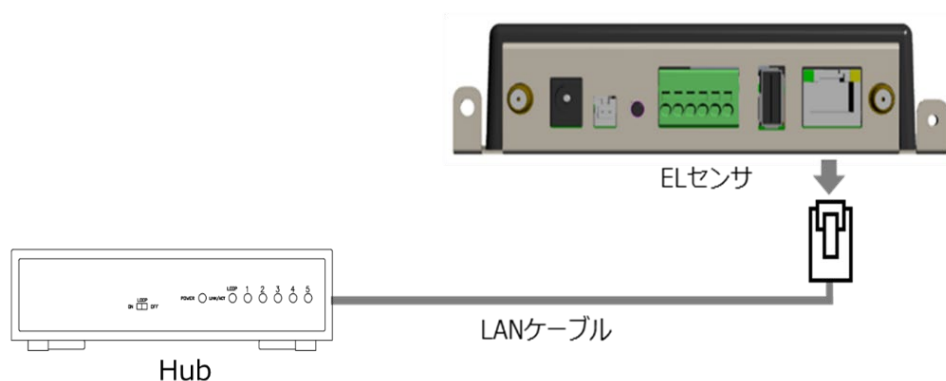
- ・ 設定用 PC（Google Chrome ブラウザが必要）
- ・ 設定用 LAN ケーブル

1-2 機器の交換

(1) 交換前の EL センサから、電源ケーブルの接続を外す



(2) 交換前の EL センサと Hub の LAN ポート間に接続している、LAN ケーブルの EL センサ側の接続を外す



(3) (2) で外した LAN ケーブルを、交換後の EL センサに接続する

(4) (1) で外した電源ケーブルを、交換後の EL センサに接続する

👉 以降は、「施工手順」章の下記ページを参照して再度 EL センサを設定してください。

- ・ 「5 各機器の配線」(P.21)
- ・ 「6-2 EL センサへログイン」(P.25)から「6-4 EL センサのランプを確認する」(P.26)を参照して完了確認をしてください。

2 Hub を交換する

2-1 機器の交換

- (1) 交換する Hub から電源ケーブル、LAN ケーブル、接地線を外す

【注意】必ず最初に電源ケーブルを外してください。

- (2) 新しい Hub に交換する

- (3) (1) で接続を外した接地線、LAN ケーブル、電源ケーブルを Hub に接続する

【注意】

- ・必ず最後に電源ケーブルを配線してください。
- ・ Hub 本体の FG 端子は、以下の圧着端子で締め付けてください。
ネジサイズ（接地線）：M4 サイズ
- ・端子ネジの締め付けには電動ドライバを使用しないでください。
- ・端子ネジの締め付け後、圧着端子が動かないことを確認してください。

 以降は、「施工手順」章の下記ページを参照して再度ランプの確認をしてください。

- ・「5 各機器の配線」(P.21)
- ・「6-4 EL センサのランプを確認する」(P.26)を参照して完了確認をしてください。

3 蓄電池を交換する

3-1 必要準備物

以下をご準備ください。

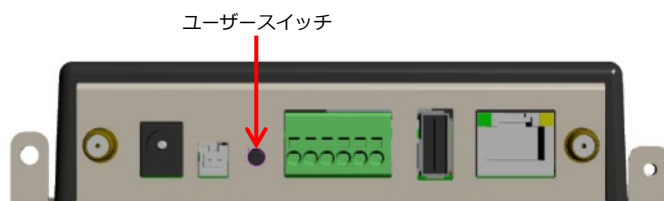
- ・ 設定用 PC（Google Chrome ブラウザが必要）
- ・ 設定用 LAN ケーブル

3-2 機器の交換

- (1) 蓄電システムの施工説明書・取扱説明書を参照の上、蓄電池を交換する
- (2) 「施工手順」章の「5 各機器の配線」(P.21)を参照して、各機器を再度配線する
- (3) EL センサを工場出荷状態に戻す

【手順】

- ① ユーザースイッチを3回短押しする
- ② 1秒以上空けてユーザースイッチを3回短押しする
- ③ 1秒以上空けてユーザースイッチを3回短押しする
- ④ 3つのランプが数回点滅したのちに EL センサが再起動することを確認する
(①～③の途中で3秒以上の間隔が空いた場合は、状態がクリアとなるのでご注意ください。)



☞ 以降は、「施工手順」章の下記ページを参照して、再度 EL センサを設定してください。

- ・ 「5 各機器の配線」(P.21)
- ・ 「6-2 EL センサへログイン」(P.25)から「6-4 EL センサのランプを確認する」(P.26)を参照して完了確認をしてください。

4 EL センサのパスワードを変更する

「EL センサ設定マニュアル」に従い、パスワード変更を行ってください。
マニュアルは下記のダウンロードページよりダウンロードしてください。

エコめがね 販売会社さま向け ダウンロードページ

<https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/>

以下の EL センサの設定確認を行ってください。

- ・パスワード変更

取扱方法

1 疎通確認方法

「EL センサ設定マニュアル」に従い、疎通確認を行ってください。
マニュアルは下記のダウンロードページよりダウンロードしてください。

エコめがね 販売会社さま向け ダウンロードページ

<https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/>

以下の EL センサの設定確認を行ってください。

- ・ 低圧スマートメータ設定での電波強度
- ・ ファームウェア情報でのエコめがね接続確認

その他

1 トラブルシューティング

■トラブルシューティング一覧

項目番号	事象	ページ
1-1	EL センサのランプが全点灯している状態にならない	P.33
1-2	EL センサのランプ表示が異常停止（EL センサ異常）を示している	P.35
1-3	EL センサのランプ表示が異常停止（通信異常）を示している	P.36

次ページより各事象のトラブルシューティングを記載しています。

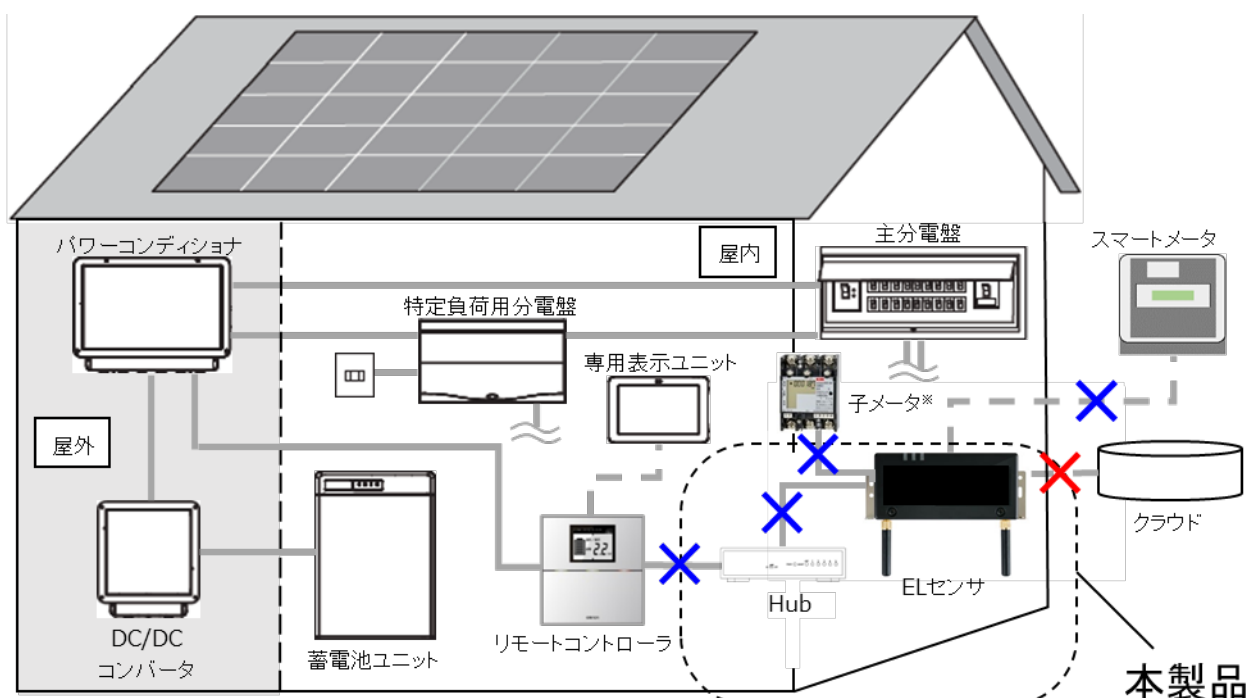
1-1 EL センサのランプが全点灯している状態にならない

本項では**起動ランプが点灯している状態で、サーバ通信ランプまたは設備通信ランプが点灯しない状態**について記載します。

EL センサの起動ランプが消灯している場合は、「1-2 EL センサのランプ表示が異常停止（EL センサ異常）を示している」「1-3 EL センサのランプ表示が異常停止（通信異常）を示している」項を参照してください。

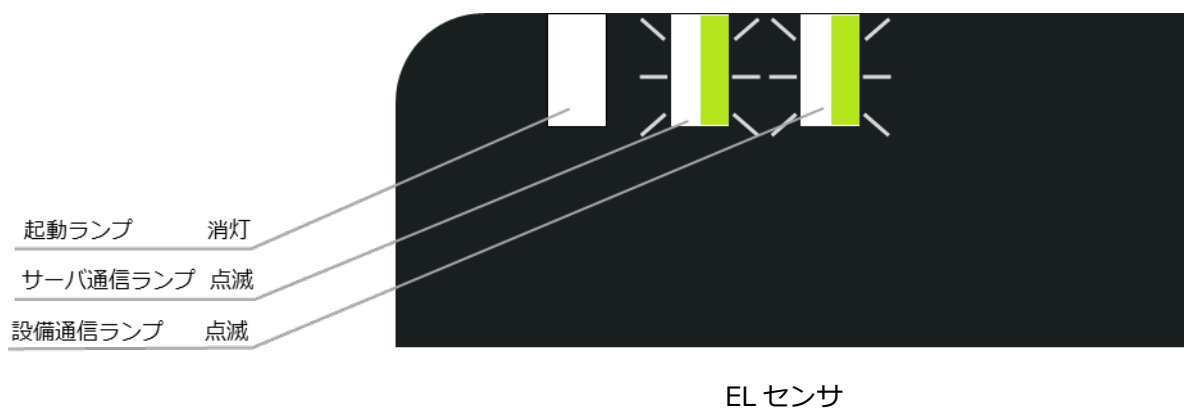


- ・ 起動ランプが点灯かつサーバ通信ランプが消灯の場合
→クラウドとの通信できていないこと（下図**赤い×印**）を意味します。
- ・ 起動ランプが点灯かつ設備通信ランプの消灯の場合
→スマートメータまたは蓄電システムのいずれかと通信できていないこと（下図**青い×印**）を意味します。



ランプ状態	要因	対処						
サーバ通信ランプが点滅 <table border="1"> <tr> <th>起動 ランプ</th><th>サーバ通信 ランプ</th><th>設備通信 ランプ</th></tr> <tr> <td>点灯 </td><td>点滅 </td><td></td></tr> </table>	起動 ランプ	サーバ通信 ランプ	設備通信 ランプ	点灯 	点滅 		サーバ接続との通信確立中	・ 対処不要です。
起動 ランプ	サーバ通信 ランプ	設備通信 ランプ						
点灯 	点滅 							
サーバ通信ランプが消灯 <table border="1"> <tr> <th>起動 ランプ</th><th>サーバ通信 ランプ</th><th>設備通信 ランプ</th></tr> <tr> <td>点灯 </td><td>消灯 </td><td></td></tr> </table>	起動 ランプ	サーバ通信 ランプ	設備通信 ランプ	点灯 	消灯 		サーバ接続不可	・ 「EL センサ設定マニュアル」を参照して LTE 電波強度を確認してください。 ・ 「EL センサ設定マニュアル」を参照してエコめがねサーバとの接続を確認してください。 ・ EL センサの電源を入れなおしてください。数日経っても改善しない場合は巻末の弊社問い合わせ先へ連絡してください。
起動 ランプ	サーバ通信 ランプ	設備通信 ランプ						
点灯 	消灯 							
設備通信ランプが点滅 <table border="1"> <tr> <th>起動 ランプ</th><th>サーバ通信 ランプ</th><th>設備通信 ランプ</th></tr> <tr> <td>点灯 </td><td></td><td>点滅 </td></tr> </table>	起動 ランプ	サーバ通信 ランプ	設備通信 ランプ	点灯 		点滅 	スマートメータ、蓄電システム、子メータのいずれかと通信確立中	・ 対処不要です。
起動 ランプ	サーバ通信 ランプ	設備通信 ランプ						
点灯 		点滅 						
設備通信ランプが消灯 <table border="1"> <tr> <th>起動 ランプ</th><th>サーバ通信 ランプ</th><th>設備通信 ランプ</th></tr> <tr> <td>点灯 </td><td></td><td>消灯 </td></tr> </table>	起動 ランプ	サーバ通信 ランプ	設備通信 ランプ	点灯 		消灯 	スマートメータ、蓄電システム、子メータのいずれかと通信不可	・ 「EL センサ設定マニュアル」を参照して低圧スマートメータの電波強度を確認してください。 ・ 蓄電システム、Hub、子メータの電源が入っていることを確認してください。電源が入っていない場合は各機器の取扱説明書に従って電源を入れてください。 ・ EL センサの LAN ケーブルが抜けていないか確認してください。LAN ケーブルが抜けている場合は差し直してください。 ・ 蓄電システムの LAN ケーブルが抜けていないか確認してください。LAN ケーブルが抜けている場合は差し直してください。 ・ 蓄電システム、Hub、子メータと EL センサの配線を確認してください。断線している場合は配線をやり直してください。 ・ 上記対処方法を試しても改善しない場合は巻末の弊社問合せ先に連絡してください。
起動 ランプ	サーバ通信 ランプ	設備通信 ランプ						
点灯 		消灯 						
サーバ通信ランプと設備通信ランプが両方消灯 <table border="1"> <tr> <th>起動 ランプ</th><th>サーバ通信 ランプ</th><th>設備通信 ランプ</th></tr> <tr> <td>点灯 </td><td>消灯 </td><td>消灯 </td></tr> </table>	起動 ランプ	サーバ通信 ランプ	設備通信 ランプ	点灯 	消灯 	消灯 	・ 設定未完了 ・ サーバ接続不可かつスマートメータ、蓄電システム、子メータのいずれかと通信不可	・ 「EL センサ設定マニュアル」を参照して EL センサの設定が完了しているか確認してください。「EL センサの計測開始」の操作を完了しないと設定未完了の状態となります。 ・ EL センサの設定完了後もこのランプ状態となる場合は、サーバ通信ランプが消灯している場合の対処、および設備通信ランプが消灯している場合の対処を実施してください。
起動 ランプ	サーバ通信 ランプ	設備通信 ランプ						
点灯 	消灯 	消灯 						

1-2 EL センサのランプ表示が異常停止（EL センサ異常）を示している



EL センサ状態	起動ランプ	サーバ通信ランプ	設備通信ランプ
異常停止（EL センサ異常）	消灯 	点滅 	点滅 

■ 対処手順

- (1) 電源ケーブルを抜き差しして、EL センサを再起動する
- (2) 再起動後のランプ表示を確認し、改善したことを確認する

☞ 24 時間経っても改善しない場合は、EL センサの故障の可能性があります。
巻末の弊社問い合わせ先へ連絡してください。

1-3 EL センサのランプ表示が異常停止（通信異常）を示している



EL センサ状態	起動ランプ	サーバ通信ランプ	設備通信ランプ
異常停止（通信異常）	消灯 	消灯 	点滅 

■ 対処手順

- (1) EL センサの LAN ポートのランプが点滅・点灯していることを確認する
- (2) リモコン設定器に異常表示が出ていないかを確認する
- (3) 電源ケーブルを抜き差しして、EL センサを再起動する
- (4) 再起動後のランプ表示を確認し、改善したことを確認する

☞ 24 時間経っても改善しない場合は、EL センサの故障の可能性があります。
巻末の弊社問い合わせ先へ連絡してください。

MEMO

販売元



NTT SMILE ENERGY

株式会社 NTT スマイルエナジー

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜 2 丁目 6 番 18 号 淀屋橋スクエア 4F

06-6221-1234

お問い合わせ support@nttse.com

施工に関する
ご質問・ご相談は…

エコめがね
サービス
ヘルプデスク

050-3185-6842

受付時間

10:00 ~ 17:30

※年末年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。